

令和4年度事業報告

岩手県脳卒中予防県民会議の事務局である県が実施するものや、共催・後援等により関わりがある取組について記載しています。

会員が行う個々の取組については、脳卒中予防に係る取組状況報告シートのご提出があった231の企業・団体等のうち、公表可としている112の企業・団体等について、取組状況一覧表を公表していますので、そちらをご参照ください。

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、招集による総会開催に代え、書面開催した。

- ・令和3年度事業報告について
- ・令和4年度事業計画について

2 岩手県脳卒中予防県民大会 2022

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を考慮し、大会開催は見送りとし、県ホームページを活用し普及啓発を実施した。

内 容

脳卒中予防に係る基礎知識や各団体が製作した普及啓発資材・動画をまとめたホームページを令和2年12月1日から公開。県民会議会員への周知を通じ、普及啓発を推進した。

『脳卒中死亡率全国ワースト1からの脱却』に向けて

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/kenkozukuri/1034696.html>

3 広報・啓発事業

【県と県民会議会員の協働による取組】

(1) 広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・岩手日報社・県）

- ・協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌等で脳卒中予防等に関する情報を掲載し、加入している約19,900企業（R5.3月現在）に対し配布
- ・岩手日報による脳卒中等に関する情報告知

- (2) いわて健康情報ポータルサイトによる啓発（洋野町食生活改善推進協議会・県）
・脳卒中予防のための生活習慣改善について、洋野町食生活改善推進員による寸劇を動画で公開。

【会員による取組】

- (1) 岩手県民健康応援キャンペーン 2022（岩手日報社）

県民の健康を支援し、健康寿命や平均寿命の延伸を図るため、行政や関係機関団体と協働し、県内の企業が健康づくりを实践できるキャンペーンを展開

- ・期 間：令和4年10月～令和5年3月

- (2) いわて元気〇（げんきまる）キャンペーン（テレビ岩手）

「ニュースプラス1いわて」及び「5きげんテレビ」の中で番組コーナーとして「健康増進」や「脳卒中予防」などに関する話題の特集を引き続き放送することに加え、講演会やキャンペーンスポットCMの放送など、立体的な連動企画を実施

- ・期間：令和4年4月～令和5年3月

- (3) いわて健康経営宣言事業（協会けんぽ岩手支部）

- ・期間：令和4年4月～令和5年3月（事業開始：平成27年9月～）

- ・社員の健康管理への積極的な取組により生産性向上につなげ、健全な経営を維持する「健康経営」の推進を目的として、健康経営に取り組む事業所を支援

- ・事業主は、「健康診断の実施」「健康サポートの利用」「検査・治療の推奨」「スモールチェンジ活動推奨」の実施を宣言し、従業員と一体となり取組を実施

- ・「いわて健康経営宣言」登録事業所 令和4年度末現在 1,764事業所

- ・「いわて健康経営宣言」の特典及び支援の主な内容

「いわて健康経営宣言」の宣言書の贈呈

企業の健康度がわかる「事業所健康度診断（事業所カルテ）」の贈呈

提携金融機関において借入等の際の金利優遇等

取組が優良な事業所の広報誌、メディアを用いたPR

スポーツクラブや温泉・入浴施設、検診施設等の利用量の割引等

- (4) 明治安田生命Jリーグウォーキング in 小岩井農場まきば園（明治安田生命保険相互会社）

- ・期 日：令和4年9月17日（土）10：30～

- ・会 場：小岩井農場まきば園

- (5) 2022年度いわて健康塾（読売新聞盛岡支局）
 - ・期 日：令和4年11月20日（日）14：00～15：30
 - ・会 場：アートホテル盛岡
- (6) 健康経営のすゝめ～健康経営で会社と従業員を元気に～（株式会社岩手銀行）
 - ・期 日：令和5年2月10日（金）14：00～15：15
 - ・会 場：WEB配信

【会員以外との後援等による取組】

- (1) 健康チャレンジ・こどもチャレンジ2022（盛岡医療生活協同組合）

地域住民の生活習慣の見直しによる健康づくりのきっかけとするため、健康チャレンジ、健康チャレンジ（小中学生）、こどもチャレンジを実施

 - ・期 間：令和4年7月～11月のうち30日間
- (2) 脳卒中多職種連携の会 in 岩手（第一三共株式会社）
 - ・期 日：令和5年3月6日18：25～20：00
 - ・会 場：WEB配信

【県・保健所による取組】

- (1) ホームページによる情報提供（岩手県環境保健研究センター）

いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを県民向けに分かりやすく加工し提供
- (2) いわて健康情報ポータルサイトの開設（健康国保課）

脳卒中予防に関するページの他、脳卒中予防に関連のある生活習慣改善に関するページを開設

4 食生活改善事業

【県と県民会議会員の協働による取組】

- (1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（県・保健所・会員）

毎月28日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、県内スーパー等で減塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所でキャンペーン活動を実施

 - ・活動回数 108回 参加者数 7,023名

(2) 「減塩レシピ本」の作成（県・岩手県栄養士会他）

岩手県民向けにおいしい減塩を提案するためのレシピ本を作成し、県内スーパー等において配付した。

【会員による取組】

(1) マスメディアでの減塩料理の紹介（盛岡市食生活改善推進員団体連絡協議会）

健康増進普及月間期間中に民放4局でお薦め減塩メニューの料理を紹介

【県・保健所による取組】

(1) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育や調理実習等を実施

・開催回数 52回 参加者数 1,444名

(2) 外食栄養成分表示店登録事業（県・保健所・盛岡市保健所）

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

・栄養成分表示講習会 53回 参加者数 792名

・栄養成分表示店登録数 576店舗（累計）

(3) 減塩リーダー養成講習（保健所）

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

・開催回数 15回 参加者数 395名

5 健康運動事業

(1) 地域のお宝さがしてプラス2000歩マップの募集（県）

県民の歩行数増加に向けて、地元の人しか知らない風光明媚なウォーキングコースや名所・旧跡を巡るウォーキングコースを広く募集した。応募があったコースは、盛岡大学文学部、栄養科学部の協力を得ながら、健康づくり情報を加えたオリジナルマップを作成してホームページに掲載した。

・応募総数 14件

(2) **健康運動指導者講習会の開催（県）**

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための講習会を開催

(3) **2022 いわて健康ウォークの開催（県、盛岡市、岩手日報社共催）**

・開催日 令和4年10月2日（日）

6 禁煙事業

(1) **企業等における受動喫煙防止対策の促進（保健所）**

企業・事業所の訪問等により、受動喫煙防止対策についての啓発を実施

・事業所等への啓発実施 45件

(2) **禁煙サポート推進事業（県）**

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙に取り組もうとする希望者に対する禁煙継続を支援

7 その他

(1) **血圧管理サポート事業の実施（県）**

事業所における従業員への血圧測定器の貸与を行うとともに、家庭血圧測定と血圧管理に関する正しい知識の普及啓発を実施。

・参加事業所6事業所 貸与血圧計台数69台

(2) **健康的な食事を推進する人材育成及びサポート環境整備事業の実施（県）**

保健所単位での「健康的な食事推進マスター」（管理栄養士、保健師、養護教諭等）の養成のほか、食品関連事業者、民間栄養ケアステーション等と連携し、主食・主菜・副菜を揃え減塩にも配慮した健康的な総菜や弁当販売の促進を通じた地域食環境の整備及び普及啓発を実施。

・食事推進マスター養成講座 9回開催、126名養成（総数 546名）

・減塩に配慮した健康的な総菜・弁当販売

県内協力店舗51店舗 弁当1種類、総菜5種類

(3) **健康経営の取組の促進（県）**

健康経営の取組を推進するため、関係団体等と連携し、いわて健康経営事業所認定制度を創設。516事業所を認定。また、「いわて健康経営アワード」を実施。優良な取組事業所として5事業所を表彰

(4) 県民会議会員の拡充（県）

県民への脳卒中予防及び健康づくりの普及啓発を推進し、各事業や会員の自主的な取組との連携を図るため、より多くの企業や団体等の参加を促進

時点（現在）	参加団体・企業数	備 考
H26. 7. 28	1 0 3	岩手県脳卒中予防県民会議設立時
H27. 3. 31	2 7 9	
H28. 3. 31	3 4 4	
H29. 3. 31	4 3 8	
H30. 3. 31	4 8 5	
H31. 3. 31	5 2 7	
R2. 3. 31	5 4 6	
R3. 3. 31	5 9 6	
R4. 3. 31	6 6 2	
R5. 3. 31	6 9 0	前年度比 28 会員増

(参加団体・企業数)

団体区分	団体数	備考
経済・産業関係団体	60	商工会議所、商工会、JA、漁協 他
学校・教育関係団体	19	岩手医大、県立大学、小学校長会、中学校長会 他
医療関係団体	59	医療三師会、県看護協会、郡市医師会 他
社会保険事業関係団体	10	協会けんぽ岩手支部、国保連等
保健・福祉関係団体	35	県社会福祉協議会、日赤岩手支部、食改協 他
地域活動団体等	30	岩手弁護士会、調理師会 他
金融・保険業	23	岩手銀行、北日本銀行、東北銀行、労金、アクサ生命 他
不動産業	2	宅地建物取引業協会、土地家屋調査士会
製造業	105	アマタケ、銀河フーズ、両磐酒造、戸田久 他
卸・小売業	75	ジョイス、マルイチ 他
建設業	107	県建設業協会、県宅地建物取引業協会 他
運輸通信業	43	県バス協会、県トラック協会、タクシー会社 他
電気・ガス・石油業	12	電気保安協会岩手事業本部、電気技術振興協会
サービス業	50	生活衛生同業組合(理容・旅館ホテル) 他
マスコミ関係	19	新聞社、テレビ局等
国・行政関係	41	岩手労働局、市長会、町村会、岩手県、市町村 他
計	690	

(R5. 3. 31 現在)

令和5年度事業計画

岩手県脳卒中予防県民会議の事務局である県が実施するものや、共催・後援等により関わりがある取組について記載しています。

会員が行う個々の取組については、脳卒中予防に係る取組状況報告シートのご提出があった231の企業・団体等のうち、公表可としている112の企業・団体等について、取組状況一覧表を公表していますので、そちらをご参照ください。

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

招集による総会開催に代え、書面開催とする。

内 容

- ・令和4年度事業報告について
- ・令和5年度事業計画（案）について

2 岩手県脳卒中予防県民大会 2023

招集による開催は行わず、県ホームページへの掲載による普及啓発等を実施する。

内 容

- ・脳卒中予防運動を一層推進するため、「脳卒中予防に係る取組状況報告シート」により、県民会議へ参加する企業・団体等が行う脳卒中予防に係る取組状況を取り纏めて一覧表にし、県ホームページで共有
- ・各地域における団体等が行う活動事例等の紹介
- ・脳卒中予防に係る基礎知識や各団体が製作した普及啓発資材・動画をまとめたホームページや、脳卒中予防、栄養・食生活、生活習慣等の健康づくり情報を発信する「いわて健康情報ポータルサイト」について県民会議会員への周知、普及啓発を推進

3 広報・啓発事業

(1) 県広報媒体による情報発信（県）【継続】

県政番組等を活用した「脳卒中予防」や「脳卒中月間」の周知広報を実施

(2) 会員広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）【継続】

協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防など健康づくりに関す

る情報を掲載し、加入している事業所等に対し情報発信

(3) 岩手県民健康応援キャンペーン 2023（岩手日報社）【継続】

～健康経営推進と脳卒中予防で健康長寿日本一へ～

社会全体として個人の健康を支え、守る環境の整備が求められることから、岩手日報社では行政や関係機関・団体と協働し、県内企業の健康経営推進と県民の健康づくりを支援するキャンペーンを展開

- ・キャンペーン PR 展開（令和5年8月～令和6年3月）

(4) 共催・後援（県）【継続】

会員等が主催する脳卒中予防、健康づくりに関するイベント、セミナー等の共催・後援

(5) ホームページによる情報発信（県）【継続】

- ・県民会議及び会員の活動等についてインターネットで広く情報発信
- ・いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを提供（岩手県環境保健研究センター）
- ・高血圧予防に関する教育資材等の掲載
県民から要望が多い血圧管理手帳の掲載（ダウンロード可）

4 食生活改善事業

(1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（県・保健所・会員）【継続】

毎月28日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、各種広報媒体を活用し、減塩メニューや減塩を実践するための情報を提供

【いわて減塩・適塩の日】

県民一人ひとりが塩分摂取と健康について考え行動する日として、平成27年7月から毎月28日を「いわて減塩・適塩の日」に設定した。

(2) 減塩リーダー養成講習（保健所）【継続】

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

(3) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）【継続】

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施

(4) 外食栄養成分表示登録店の店舗拡大（保健所）【継続】

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

(5) 家庭や地域における食生活改善の推進（岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会・県）【一部新規】

・野菜摂取量を「見える化」させて一人当たりの平均野菜摂取量 70 g アップを目指すための新たな地域食生活改善活動を県内 10 地域で実施。【新規】

・岩手県食生活改善研究会の開催

県内各地域での実施した野菜摂取量アップに向けた食生活改善推進員による取組事例発表

・東北の「おいしく食べて健康づくり」レシピ本の作成配付

東北 6 県の県民に向けた減塩と野菜摂取のためのおすすめレシピ本を作成しスーパー等で配布。

5 健康運動事業

(1) 地域のお宝さがしてプラス 2000 歩マップの募集（県）【継続】

年代問わず誰もが安全に楽しく歩ける地域のウォーキングコースを募集し、県民の歩行数増加と運動習慣定着のための環境を整備

(2) 県民の健康づくりのための各種イベント等の共催・後援（県）【継続】

「いわて健康ウォーク」等の各種健康運動イベント等の共催・後援

(3) 健康運動指導者講習会の開催（県）【継続】

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための講習会を開催

6 禁煙事業

(1) 企業等における受動喫煙防止対策の促進（保健所）【継続】

保健所で企業・事業所の訪問等により、受動喫煙防止対策についての啓発を実施

(2) 禁煙サポートの推進（県）【継続】

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙に取り組もうとする希望者に対する禁煙継続を支援

7 その他

(1) 血圧管理サポート事業の実施（県）【継続】

事業所における従業員への血圧測定器の貸与を行うとともに、家庭血圧測定と血圧管理に関する正しい知識の普及啓発を実施

(2) 健康的な食事サポート環境整備事業の実施（県）【継続】

食品関連事業者、民間栄養ケアステーション等と連携し、主食・主菜・副菜を揃え減塩にも配慮した健康的な食事が実践できる環境を整備

(3) 健康経営の取組の促進（県）【継続】

健康経営の取組を推進するため、関係団体等と連携し、いわて健康経営事業所認定制度を普及するとともに、表彰を実施

(4) 県民会議会員の拡充（県・保健所・会員）【継続】

県民への脳卒中予防及び健康づくりの普及啓発を推進し、各事業や会員の自主的な取組との連携を図るため、企業・団体等に対して脳卒中予防県民会議への新規参加の働きかけ

(参加団体・企業数)

設立時（平成26年7月）	103
令和5年3月31日現在	690
令和5年度目標	722